



## 平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月3日

上場会社名 株式会社 マースエンジニアリング

上場取引所 東

コード番号 6419 URL <http://www.mars-eng.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松波 明宏

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長 (氏名) 佐藤 敏昭

TEL 03-3352-8555

四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	20,659	△12.8	4,145	△21.3	4,695	△16.0	3,561	10.0
25年3月期第3四半期	23,691	7.5	5,268	12.3	5,590	20.7	3,237	76.4

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 5,730百万円 (69.1%) 25年3月期第3四半期 3,388百万円 (99.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	186.98	—
25年3月期第3四半期	169.97	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	62,932	49,575	78.8	2,602.47
25年3月期	58,728	44,987	76.6	2,361.65

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 49,575百万円 25年3月期 44,987百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	30.00	—	30.00	60.00
26年3月期	—	30.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	31,500	3.9	6,420	1.1	6,790	0.7	4,130	8.6	216.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	22,720,000 株	25年3月期	22,720,000 株
26年3月期3Q	3,670,772 株	25年3月期	3,670,656 株
26年3月期3Q	19,049,255 株	25年3月期3Q	19,049,425 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が発表日現在において入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、政府や日銀による経済政策や金融政策を背景とした円安の進行や株価の上昇で、企業収益の改善が見受けられ、個人の消費意欲も持ち直しつつあります。その一方で、消費税率引き上げによる影響や円安による輸入原材料の上昇等、景気下振れとなる不安要因もあり、先行き不透明な状況で推移しました。

当社グループの主要販売先であるパチンコ業界におきましては、長引く個人消費の低迷や多様化するレジャーにより遊技人口が減少している中、低貸玉営業の定着によりパチンコホールの売上高は低迷しており、パチンコホールを取り巻く経営環境は厳しい状況で推移しました。また、資金力の乏しいパチンコホールは閉店・休業する一方で、資金力のある大型チェーン店は新規出店を進める二極化が続いております。

このような状況の中、開発型企業グループである当社グループは、開発、製造、販売、アフターサービスに至る一貫体制で、製造原価の低減や多様化する顧客ニーズに適した製品の開発を進め、更には充実したアフターサービス体制で他社との差別化を図りながら提案販売を行ってまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高206億59百万円（前年同四半期比12.8%減）、営業利益41億45百万円（同21.3%減）、経常利益46億95百万円（同16.0%減）、四半期純利益35億61百万円（同10.0%増）となりました。

セグメントの実績は次のとおりであります。

#### [アミューズメント関連事業]

「パーソナルPCシステム（以下、「パーソナル」という。）」を販売して約7年が経過し、当初は玉積みが無くなることに懐疑的だったパチンコホールも、導入件数の増加につれて、コストの削減や遊技客の利便性向上等、パーソナルの導入効果が広く認知され、市場シェアは拡大し続けております。

競合他社の参入で価格競争は厳しくなっているものの、業界標準化を視野に販売を強化すべく、10月より新製品「パーソナル5」「メダルパーソナル」を市場投入いたしました。パーソナルのバイオニアとして、今まで培ってきたノウハウを基にハード・ソフト面を一新した「パーソナル5」、当社初のパチスロ機向け各台計数システム「メダルパーソナル」は市場から高く評価をいただき、順調に導入が進みました。

当第3四半期連結累計期間におけるパーソナルの売上実績は139店舗、第3四半期連結累計期間末時点における累計導入店は1,280店舗（市場シェア13.5%）となりました。また、パーソナルを含めたプリペイドカードシステムの売上実績は152店舗、導入（実稼働）店舗数は累計2,066店舗（市場シェア21.7%）となりました。

パーソナルを中心に、トータルシステムでの提案販売を展開し、中でも空気の流れで紙幣を搬送するAir紙幣搬送システム「HAYATE疾風」は、その高い技術力が評価され、販売台数は増加しております。また、新製品の「MSD（マース戦略データ）」は、今までにない経営情報を提供するサービスとして、今後の成長性に期待しております。

この結果、アミューズメント関連事業の売上高は、161億65百万円（前年同四半期比12.5%減）、セグメント利益40億59百万円（前年同四半期比6.9%減）となりました。

#### [自動認識システム関連事業]

R F I Dやバーコード等を活用した自動認識システムは、業種を問わず様々なビジネスシーンで活用できます。当社子会社の株式会社マーストークンソリューションが主体となり、展示会への出展を通して新規分野を模索しつつ、自動認識システムを提案販売してまいりました。

この結果、自動認識システム関連事業の売上高は、37億19百万円（前年同四半期比17.1%減）、セグメント利益2億96百万円（前年同四半期比40.2%減）となりました。

#### [ホテル関連事業]

ホテル業界におきましては、国内レジャーが回復傾向にあり、円安で外国人観光客数が過去最多となっていることから、ホテル経営を取り巻く環境は改善してまいりました。

福岡市博多区のホテルサンルート博多は、JR博多駅に近い立地の良さと質の高いサービスが評価され、高稼働率を維持することができました。

静岡県御殿場市のマースガーデンウッド御殿場は3周年を迎え、少しずつ認知度が上がっており、リピート客が増加してまいりました。近くには世界文化遺産に登録された富士山があり、注目度の高さから更なる集客に期待が持てます。

この結果、ホテル関連事業の売上高は、7億74百万円（前年同四半期比5.8%増）、セグメント損失2億16百万円（前年同四半期は2億28百万円のセグメント損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は以下のとおりであります。

当第3四半期連結会計期間末の総資産は629億32百万円となり、前連結会計年度末と比較して42億3百万円増加いたしました。

流動資産は392億45百万円となり、前連結会計年度末と比較して32億26百万円増加いたしました。その増加の主な内訳は、現金及び預金が29億91百万円増加し144億63百万円となりました。

固定資産は236億86百万円となり、前連結会計年度末と比較して9億76百万円増加いたしました。その増加の主な内訳は、投資有価証券が14億33百万円増加し79億47百万円となりました。

流動負債は80億53百万円となり、前連結会計年度末と比較して7億38百万円減少いたしました。その減少の主な内訳は、未払法人税等が2億37百万円減少し8億25百万円、賞与引当金が2億26百万円減少し2億21百万円となりました。

固定負債は53億3百万円となり、前連結会計年度末と比較して3億55百万円増加いたしました。その増加の主な内訳は、その他が7億31百万円増加し20億5百万円、リース債務が4億6百万円減少し24億88百万円となりました。

純資産は495億75百万円となり、前連結会計年度末と比較して45億87百万円増加いたしました。その増加の主な内訳は、利益剰余金が24億18百万円増加し387億80百万円、その他有価証券評価差額金が21億68百万円増加し24億43百万円となりました。

自己資本比率は78.8%となり、前連結会計年度末と比較して2.2ポイント増加いたしました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の残高は208億6百万円となり、前連結会計年度末と比較して38億93百万円増加いたしました。

当第3四半期連結累計期間における「営業活動によるキャッシュ・フロー」は22億79百万円の収入(前年同四半期は19億85百万円の収入)となりました。主な要因は、リース投資資産の減少額6億29百万円、仕入債務の増加額5億60百万円等によるものです。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は26億97百万円の収入(前年同四半期は30億29百万円の支出)となりました。主な要因は、投資有価証券の売却による収入33億34百万円等によるものです。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は10億88百万円の支出(前年同四半期は10億86百万円の支出)となりました。主な要因は、配当金の支払額10億88百万円等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の業績予想につきましては、平成25年5月13日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	11,472,040	14,463,613
受取手形及び売掛金	6,557,479	6,755,144
リース投資資産	4,212,124	3,573,998
有価証券	5,990,849	6,793,136
商品及び製品	1,904,605	1,875,591
仕掛品	155,291	202,795
原材料及び貯蔵品	1,430,832	1,534,646
その他	4,302,528	4,056,998
貸倒引当金	△6,934	△10,435
流動資産合計	36,018,817	39,245,488
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,102,968	7,860,976
土地	5,796,545	5,796,545
その他(純額)	528,149	689,355
有形固定資産合計	14,427,664	14,346,878
無形固定資産		
のれん	86,972	43,486
その他	207,548	234,832
無形固定資産合計	294,521	278,318
投資その他の資産		
投資有価証券	6,513,302	7,947,215
その他	1,692,019	1,325,418
貸倒引当金	△217,446	△211,004
投資その他の資産合計	7,987,876	9,061,628
固定資産合計	22,710,062	23,686,825
資産合計	58,728,879	62,932,314
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,778,266	3,338,449
リース債務	2,061,879	1,850,753
未払法人税等	1,062,912	825,325
賞与引当金	447,399	221,303
その他	2,442,169	1,817,819
流動負債合計	8,792,628	8,053,650
固定負債		
リース債務	2,894,440	2,488,044
退職給付引当金	168,404	174,454
役員退職慰労引当金	592,805	615,935
資産除去債務	18,908	20,047
その他	1,273,899	2,005,100
固定負債合計	4,948,459	5,303,582
負債合計	13,741,088	13,357,233

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,934,100	7,934,100
資本剰余金	8,371,830	8,371,830
利益剰余金	36,361,565	38,780,391
自己株式	△7,954,348	△7,954,575
株主資本合計	44,713,146	47,131,746
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	274,645	2,443,334
その他の包括利益累計額合計	274,645	2,443,334
純資産合計	44,987,791	49,575,080
負債純資産合計	58,728,879	62,932,314

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	23,691,618	20,659,112
売上原価	11,963,021	10,320,140
売上総利益	11,728,597	10,338,972
販売費及び一般管理費	6,460,051	6,193,399
営業利益	5,268,546	4,145,573
営業外収益		
受取利息	3,939	4,011
受取配当金	189,434	345,045
保険解約返戻金	34,178	120,096
その他	94,065	81,195
営業外収益合計	321,618	550,349
経常利益	5,590,164	4,695,922
特別利益		
投資有価証券売却益	21,000	1,150,774
関係会社清算益	50,786	—
特別利益合計	71,786	1,150,774
特別損失		
投資有価証券評価損	319,482	—
関係会社清算損	—	4,853
特別損失合計	319,482	4,853
税金等調整前四半期純利益	5,342,468	5,841,843
法人税、住民税及び事業税	1,725,603	2,019,913
法人税等調整額	378,962	260,147
法人税等合計	2,104,566	2,280,060
少数株主損益調整前四半期純利益	3,237,901	3,561,783
四半期純利益	3,237,901	3,561,783



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,237,901	3,561,783
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	151,066	2,168,689
その他の包括利益合計	151,066	2,168,689
四半期包括利益	3,388,968	5,730,472
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,388,968	5,730,472

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	5,342,468	5,841,843
減価償却費	495,151	498,540
のれん償却額	43,486	43,486
引当金の増減額(△は減少)	△158,231	△199,856
受取利息及び受取配当金	△193,374	△349,057
保険解約返戻金	△34,178	△120,096
関係会社清算損益(△は益)	△50,786	4,853
投資有価証券売却損益(△は益)	△21,000	△1,150,774
投資有価証券評価損益(△は益)	319,482	—
売上債権の増減額(△は増加)	511,940	△197,665
リース投資資産の増減額(△は増加)	360,506	629,017
たな卸資産の増減額(△は増加)	36,711	△122,303
営業貸付金の増減額(△は増加)	△825,829	43,718
仕入債務の増減額(△は減少)	△263,872	560,182
リース債務の増減額(△は減少)	△297,414	△617,522
前受金の増減額(△は減少)	△913,409	△663,213
その他	△129,988	△28,062
小計	4,221,661	4,173,090
利息及び配当金の受取額	193,359	349,057
法人税等の支払額	△2,429,240	△2,242,416
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,985,780	2,279,731
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△127,553	△350,130
投資有価証券の取得による支出	△3,015,604	△264,450
投資有価証券の売却による収入	120,000	3,334,353
関係会社の整理による収入	42,678	1,315
貸付金の回収による収入	729	465
保険積立金の解約による収入	34,178	120,096
その他	△83,654	△143,860
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,029,225	2,697,788
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	△110	△226
配当金の支払額	△1,086,807	△1,088,467
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,086,918	△1,088,693
現金及び現金同等物に係る換算差額	6,245	4,718
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,124,117	3,893,545
現金及び現金同等物の期首残高	15,957,187	16,912,730
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,833,069	20,806,275

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	アミューズ メント 関連事業	自動認識 システム 関連事業	ホテル 関連事業			
売上高						
外部顧客への 売上高	18,475,830	4,483,782	732,005	23,691,618	—	23,691,618
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	496,200	136,163	209	632,573	△632,573	—
計	18,972,030	4,619,946	732,215	24,324,191	△632,573	23,691,618
セグメント 利益又は損失 (△)	4,361,344	495,838	△228,122	4,629,059	639,486	5,268,546

(注) 1. セグメント利益の調整額639,486千円には、セグメント間取引消去639,486千円が含まれておりません。

2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	アミューズ メント 関連事業	自動認識 システム 関連事業	ホテル 関連事業			
売上高						
外部顧客への 売上高	16,165,961	3,719,003	774,147	20,659,112	—	20,659,112
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	473,724	79,213	5	552,943	△552,943	—
計	16,639,686	3,798,216	774,152	21,212,055	△552,943	20,659,112
セグメント 利益又は損失 (△)	4,059,454	296,591	△216,495	4,139,550	6,022	4,145,573

(注) 1. セグメント利益の調整額6,022千円には、セグメント間取引消去6,022千円が含まれております。

2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。